

クリエイティブによる地域社会の課題解決

BUSINESS PROFILE

地域の宝の発掘と見える化体験からシビックプライドを育み、「このまちがすきだから」の原動力に繋がります

クリエイティブを通し場を白熱させ、わがまちへの自負と愛着、結びつきを深めるプロジェクトを企画、運営。
自ら考え動く人へと導きます

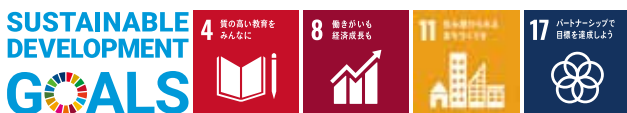
事業内容（まちづくり・地域活性化部門）

今いる場所で誰もが主役になれる場の創出
ークリエイティブによる地域社会の課題解決

ブランディング・広告・販促事業 / Web マーケティング・制作事業 / 小規模商業施設内装設計コンサルティング事業 / 教育事業 / リスキリング・DX コンサルティング事業

事業所概要

社 名：株式会社 SCENE と私と（シーントワタシト）
代 表 者：代表取締役 原 愛樹（ハラ アキ）
所 在 地：愛知県名古屋市守山区翠松園三丁目 305
お問合せ：web@scene2.me（担当：伊藤）
設 立：2023 年 5 月



パーパス

「私」が輝くシーンをつくる

代表プロフィール

愛知県出身。武蔵野美術大学コミュニケーションデザイン卒。3DCG デザイナー時代、NHK教育等のタイトル映像や絵コンテ（シーンの流れ図）制作を手がける。名古屋大学情報メディア教育部門で15年、研究補助や学生指導を担当。150名以上の研究者を取材し、研究成果を伝えるWEBプロジェクトに従事。デザインコンセプト設計も担う。名古屋市の中心商業地区活性化のデザインプロジェクトに参画、住民が発掘した地域の歴史文化を小学校高学年向け地域副読本に昇華させ、学区の小学校の教材に採用される。第17回情報文化学会研究奨励賞受賞。まちづくり構想・総合計画のまち学習及びブランディング担当に推され、地域社会に眠る問題をクリエイティブで解決するプランナーとして手腕を発揮。小牧市の小学生150名以上にカルタ作り地域学習授業を3年間実施し、トライ&エラーによる成長と郷土愛を促すとの評価を得る。近年では文化庁「日本遺産」事業に携わる。

事例① ワークショップ・セミナー企画運営 商品開発 共同研究・開発

地域の誇りと一体感を高め、主体的に動く人をうみだす市民活動プロジェクト

「色は匂えど長者町カルタ」共創企画・制作



プロジェクト実施期間：2010年5月～2011年3月 NPO法人まちの縁側育くみ隊、名古屋大学、武蔵野美術大学 | 活動地域：名古屋市中区錦二丁目長者町地区 | メディア：CBCラジオ他

市民参加型のまち案内辞典作りプロジェクトを実施。地域の歴史文化に関する資料集め、地元の小学生による繊維問屋街の取材活動「長者町タンケン」を通し、カルタ型の辞典が完成しました。地域住民がこの辞典を使い、「私と

まちの物語り」を伝えるカルタ語り会やカルタ取り大会などを催し、地域への愛着やつながりが深まっています。さらに、訪れた人や有志の協力により新たな札が増刷され、プロジェクトは進化し続けています。



「色は匂えど長者町カルタ」絵札・読札各 48 枚、空札各 1 枚、索引、札の内容を深められる解説書



繊維問屋街取材の総合学習授業「長者町タンケン」の様子



「長者町タンケン」の記録

カルタ完成を目指し、自ら足を運びまちを知ることで、地域の一員である自覚と愛着心を育むことを目的としました。小学 4 年生を対象とした「長者町タンケン」では、「売り物は何か」「今と昔とで変わったことは何か」などを質問する特製のワークシートを使用し

た。問屋街の店主などには写真提供の他、撮影や執筆の協力をお願いし、地域の歴史文化を豊かに伝える活動となりました。武蔵野美術出版局「デザインとコミュニティ（2019年）」に、デザインの力を使った先駆的な取り組みとして紹介されました。



「地図で見る長者町」「今日の一枚」
GoogleAPIを用いたWEBアプリ。カルタを「場所」から発見。下は携帯電話からの写真とコメント投稿システム。



カルタ語り会、カルタ取り大会などの開催

有志による長者町カルタ普及会が発足、カルタ取り大会が恒例行事であるえびす祭りの公式行事に。中学生がそのポスター作りをかって出る場面も。お気に入りの一枚から長者町の宝と私を語る、カルタ語り会も催されました。



事例② WEBデザイン WEBマーケティング

重要伝統的建造物群保存地区岩村城下町を歩くように伝えるメディア

「ホットいわむら」「岩村町観光協会」「おんな城主」WEBサイト制作

プロジェクト期間：2015年 活動地域：岐阜県恵那市岩村町

岩村観光協会の窓口寄せられた地域の人のおもいを集め、まち案内 WEB サイトとして見える化しました。地元店舗めぐりや岩村登山などのフィールドワークを丁寧に、まちの未来をイメージしながら制作しました。「岩

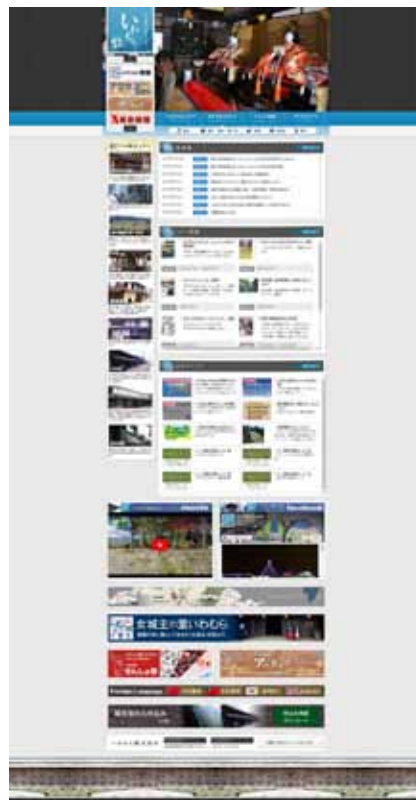
村を散策しているようだ」との地域内外の人から高い評価をうけ、岩村観光協会やおんな城主のWEB サイト設立へと拡がりました。



岩村地域協議会のもと、地域づくり基金を活用し発足した実行組織が運営する地域メディア、ホットいわむら



ホットいわむら



岩村町観光ガイド (岩村町観光協会)



女城主の里いわむら (岩村町観光協会)

事例③ 空間デザイン

「人が集う場所」を大切に、地域の人との対話から再生した教会

大須教会 改修施工・工事



施工期間：2019年9月 | 場所：名古屋市中区 名古屋市中区大須 | メディア：中日新聞（2019年9月）

「人々が集うコミュニティスペースとしての教会」を目指し施工しました。安全性と美しさの追求とともに、躯体修復と防水工事を行いました。建物のデザインは、周囲の景観と調和する外装を意識し、建物全体に機能性も組み

込んでいきました。十字架が浮かび上がり、間接照明でライトアップされる外装など外向きの要素も強調。地域の声を大切にして完成した教会は、人々に親しまれ、まちの活性化の一翼を担う場となりました。



ファサード



教会内部



地域の人に愛される場所に

